

9.新生児集中治療室

〔NICU〕



新生児治療回復室

〔GCU〕



新生児集中治療室(NICU: Neonatal Intensive Care Unit)、新生児治療回復室(GCU: Growing Care Unit)とは、小さく生まれて身体の働きが十分に整っていない場合や、正期産で生まれた赤ちゃんであっても何らかの心配があった場合など、生まれた赤ちゃんを集中的に治療し看護する病室のことをいいます。

NICU や GCU に入院する赤ちゃんは、呼吸や心臓の動きが不十分であったり、自分で体温調節ができなかったりします。そのため、保育器の中で人工呼吸器を使っていたり、心臓や呼吸の状態を管理するためのモニターのコードや点滴や栄養チューブが入っている赤ちゃんもいます。

小さく生まれた赤ちゃんは、赤ちゃん自身がもっている予備能力が小さいため、周囲の環境の影響を大きく受けてしまいます。そのため、NICU、GCU では、赤ちゃんの様子を注意深く観察し、心配なことは速やかに対応し、赤ちゃんに負担がかからないようにし、赤ちゃんが健やかに成長していけるようにケアをしています。

赤ちゃんの小さな体にいくつものチューブ等がついている姿をみると、多くのパパやママはショックを覚え、強い不安を抱かれることが多いです。また、「私のせいで」「私が〇〇したから」などと、自分自身を責めたり、落ち込んでしまうママも多いです。しかし、どんな赤ちゃんでも生きる力を持って生まれてきて、そしてパパやママに抱っこしてもらえる日のために、赤ちゃんは毎日とても頑張っています。

私たちは、赤ちゃんが本来もっている生きる力をサポートし、パパやママ、家族と共に赤ちゃんの幸せを求めて医療・看護を提供していきたいと考えています。入院中、赤ちゃんとはパパ・ママ・家族が安心して良い時間を過ごせるように精一杯サポートさせていただきます。

※当院の退院基準の簡単な目安※

修正 36 週以上かつ体重 2100g 以上になること

★退院基準を満たしていても、経過によってはママが先に退院することもあります。また、経過によってそれぞれが別々の日に退院になることもあります。

